



保健文化賞

募集要綱



第 78 回

(2026年度)

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK厚生文化事業団



ごあいさつ

第一生命保険株式会社
代表取締役社長 隅野 俊 亮

保健文化賞は、今年で第78回を迎えることとなりました。

この間、社会的評価も高まり、今日では、保健衛生の分野において権威ある賞として認められておりますことは、主催者といたしまして誠に喜ばしくかつ光栄なものと存じます。これもひとえに受賞者の方々のご献身は申すまでもなく、厚生労働省ならびに朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団の長年にわたるご後援と、関係各方面の皆さま方のご支援、ご協力の賜物と存じ、ここにあらためて衷心よりお礼申し上げます。

当社は創業以来、生命保険業を通じた社会への貢献とともに、健康増進や保健衛生の向上などに努めてまいりました。1935年には「保生会」を設立して当時の国民病であった結核予防に取り組み、戦後間もない1950年には、衛生環境が悪化する中で、保健衛生に従事するの方々のご功績やご労苦に対し、感謝と敬意を表するために本賞を創設いたしました。

創設当時は結核や栄養不足、その後は生活習慣病対策、地域保健・地域医療、高齢者・障がい者福祉、さらに国際保健など、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を顕彰してまいりました。これまでの顕彰数は団体752、個人382名、合わせて1,134件にのぼります。70年以上もの長い年月をかけて1千件を超える方々に賞をお贈りできましたのも、受賞された皆さまが地域に寄り添い、ひたむきに活動を継続され、広く社会に貢献されているからこそであり、ここにあらためて受賞された全ての皆さま方に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

当社は、今後も生命保険業を通じて「安心」と「健康」をお届けすることで、「多様な幸せと希望に満ちた世界」の実現に向けて貢献してまいるとともに、本賞を通じて、今後も微力ながら保健衛生の向上に寄与していく所存です。引き続き皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

「保健文化賞募集要綱」等の主な改定内容のお知らせ

第78回保健文化賞からの応募に関して、以下を改定しました。

【改定①】 個人応募の年齢制限撤廃（募集要綱 P.5）

従来は、個人応募の対象年齢を「原則として50歳以上」としていましたが、年齢制限を撤廃することで、より多くの方々にご応募いただけるようにしました。

【改定②】 推薦者の人数制限（募集要綱 P.4）

団体応募・個人応募ともに、推薦者を「1団体、あるいは個人1名」に限定することで、応募される際の手続きを簡素化しました。

【改定③】 押印欄廃止（応募用紙）

団体応募・個人応募ともに、従来、「応募用紙」の推薦者記入欄にあった押印欄を廃止のうえ、押印を不要とすることで、応募される際の手続きを簡素化しました。

第78回 保健文化賞募集要綱

- 主 催 第一生命保険株式会社
- 後 援 厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団
- 対 象
 1. 保健衛生（関連する福祉等を含む）を実際に著しく向上させた団体あるいは個人
 2. 保健衛生（関連する福祉等を含む）の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人
- 応 募
 - ・応募用紙は規定のフォーマットを使用すること
ダウンロードはこちらから↓
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>
 - ・必ず推薦を得て提出のこと
 - ・記入後の応募用紙は、ワードデータをEメールにて送付ください。

※推薦事項の内容確認のため、主催より推薦者に直接ご連絡させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

第一生命保険株式会社 総務部 保健文化賞担当
Eメール：hobun1950@daiichilife.com
- 審 査 審査委員会が行なう（審査委員は次頁のとおり）
- 表 彰 受賞者全員に以下をそれぞれ贈呈する
厚生労働大臣賞（表彰状）
第一生命賞（感謝状、賞金：団体200万円、個人100万円）
朝日新聞厚生文化事業団賞（記念品）
NHK厚生文化事業団賞（記念品）
- 表彰場所 東京
- 日 程
 - ・募集開始 2026年2月2日（月）
 - ・締切日 2026年4月15日（水）
 - ・審査・発表 2026年9月上旬
 - ・表彰期日 2026年秋冬

審 査 委 員 名

(敬称略 2025.12.31現在)

■学 識 経 験 者 (所属名五十音順)

学 校 法 人 北 里 研 究 所 理 事 長
公 益 財 団 法 人 結 核 予 防 会 結 核 研 究 所 名 誉 所 長
国 立 医 薬 品 食 品 衛 生 研 究 所 所 長
国 立 健 康 危 機 管 理 研 究 機 構 副 理 事 長
国 立 保 健 医 療 科 学 院 所 長
東 京 大 学 医 科 学 研 究 所 所 長
一 般 財 団 法 人 日 本 公 衆 衛 生 協 会 理 事 長
日 本 放 送 協 会 会 長

浅 森 齋 脇 浅 岩 福 稻
利 藤 田 沼 間 島 葉
嘉 隆 一 厚 靖 延
靖 亨 朗 宇 成 志 正 雄

■厚 生 労 働 省

医 務 技 術 監
大 臣 官 房 危 機 管 理 ・ 医 務 技 術 総 括 審 議 官
医 政 局 所 長
健 康 ・ 生 活 衛 生 局 所 長
健 康 ・ 生 活 衛 生 局 感 染 症 対 策 部 所 長
医 薬 局 所 長
社 会 ・ 援 護 局 障 害 保 健 福 祉 部 所 長
老 健 局 所 長
保 険 局 所 長

迫 佐 森 大 鷲 宮 野 黒 間
井 木 光 坪 見 本 村 田
正 昌 敬 寛 直 知 秀 隆 一
深 弘 子 子 学 樹 司 郎 郎

■こ ど も 家 庭 庁

成 育 局 所 長

中 村 英 正

■社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

理 事 所 長
業 務 執 行 理 事

小 田 桐 永 則 一 雄 好
是 永

■社会福祉法人N H K厚生文化事業団

理 事 所 長
常 務 理 事

平 柳 田 原 恭 佐 浩
柳 原 浩

■第一生命保険株式会社

代 表 取 締 役 社 長
執 行 役 員

隅 野 俊 亮 真
菱 田 真

応募にあたっての留意事項

応募にあたっては第78回保健文化賞募集要綱によりますが、次の点にご留意ください。

1. 保健文化賞の対象となる保健衛生（関連する福祉等を含む）とは、健康増進・疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者の保健福祉分野、少子化対策等をいいます。
2. 日本国内に限らず、国外における活動も対象とします。
3. 純学術的なものより、地域に密着した地道で身近な活動や实际的な活動を対象とします。
4. 1 団体、あるいは個人 1 名の推薦者を必要とし、自薦ではなく他薦とします。なお、次頁の各種団体（※）には推薦協力を依頼していますが、記載以外の団体および個人からの推薦も可能です。
5. 推薦者は応募者の承諾を得て推薦するものとします。
6. 同一功績による団体とその団体に属する個人が同時に応募することはできません。
7. 提出書類は返還しません。
8. 受賞決定後、受賞者名・職業および都道府県名等を公表します。
9. 応募用紙など関係書類の内容に事実と異なる記載がある場合や、本賞の授与にふさわしくないと判断される事実が判明した場合は、受賞した後であっても受賞が取り消される場合があります。
10. 詳細は、第一生命ホームページにも掲載しています。

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken.html>

募集要綱・応募用紙は、下記をご覧ください。

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>

＜団体の応募の対象＞

11. 団体としての活動実績が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できるものとします。ただし、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
12. 過去に以下の表彰歴のある団体は応募の対象としません。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞している団体。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞した個人が代表を務めている又は代表を務めていた団体。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去20年以内に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた団体。

＜個人の応募の対象＞

13. 個人としての活動年数が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できる方とします。ただし、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
14. 国・都道府県・指定都市等の本省庁職員、特別職公務員およびこれらに準ずる職種の方は対象としません。ただし、これらの職種の方についても、離職後は対象となりますが、公務としての業績は対象としません。
15. 過去に以下の表彰歴のある方は応募の対象としません。
 - ・過去に保健文化賞を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方。
 - ・過去に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた方。
16. 個人の受賞の対象は、審査委員会時に存命である方とします。

（※）推薦協力を依頼している団体

都道府県、指定都市、中核市、保健所政令市、特別区や、医学部、歯学部、薬学部、看護学部又は福祉学部を有する大学、その他関係機関および団体等（P.20「推薦協力依頼をしている関係機関および団体等抜粋」参照）

保健文化賞の経緯

保健文化賞は、1950年（昭和25年）以来、第一生命保険株式会社が毎年主催し、厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団の後援により、保健衛生および関連する福祉等の分野でご尽力されている団体および個人を顕彰してまいりました。

長い歴史の中では様々な課題が生じています。創設当時には、結核等の感染症や栄養不足が喫緊の課題であったことから、これらの分野での活躍を応援してまいりました。

現在では、地域保健・地域医療、高齢者・障がい者福祉、出産・育児支援、さらに、国際保健分野等、幅広い課題に多くの方々が取り組まれています。

今後も、人々の健康と暮らしを支え、時代の流れとともに生まれる課題に対して地道に活動される方々を応援していくことが、保健文化賞の変わらぬ役割です。

* 創設から現在まで *

1949年（昭和24年） 6 月	第一生命の社員総代会にて保健文化賞設立を決議
1950年（昭和25年） 1 月	保健文化賞設定趣意書を設定
1950年（昭和25年） 3 月	厚生省、朝日新聞厚生文化事業団の後援のもと、朝日新聞東京本社講堂にて第1回贈呈式を開催
1959年（昭和34年）（第11回）	天皇皇后両陛下の拝謁が始まる
1962年（昭和37年）（第14回）	NHK 厚生文化事業団が後援に加わる
1978年（昭和53年）（第30回）	「保健文化賞30年のあゆみ」を発行
1987年（昭和62年）（第38回）	受賞者業績集「保健衛生の向上を願って」の発行を開始 （以降、第60回まで毎年発行）
1998年（平成10年）（第50回）	「保健文化賞50年のあゆみ」を発行
2008年（平成20年）（第60回）	「保健文化賞60年のあゆみ」DVD を発行
2016年（平成28年）（第68回）	受賞件数が1,000件を超過
2019年（平成31年） 4 月	「保健文化賞70年のあゆみ」を発行

保健文化賞設定趣意書

我が国における公衆衛生の思想及び施設は、戦争中から著しく低下衰退致しまして、真に憂慮すべき状態に立至っておりましたが、終戦後、連合軍の熱心な指導と政府の積極的な努力と施策によって、逐次改善に向いつつあることは御同慶に堪えません。しかしながら一般の現状はいまだ決して満足すべき域に達しておらず、とくにこれを先進諸外国の実情と比較致しますと、前途なお遥かなりの感なきを得ません。

今後、我が国が文化的平和的国家として発展するためにも、一般衛生思想の普及と保健施設の拡充強化は、誠に焦眉の急務でありまして、健全明朗な文化は、この基礎あって初めて育成されるものと存じます。

弊社は今回右の見地に立って、剰余金の一部をさき、厚生省並びに朝日新聞厚生文化事業団の御後援を得て、保健衛生施策向上のために、別記要綱による保健文化賞を設定することと致しました。

御承知の通り、弊社においては、生命保険事業が社会公共性をその本質としている点にかんがみ、去る昭和9年には結核予防のために剰余金の一部をもって保生会を創立し、保生会館及び保生園等の治療施設を設立致しましたが、今回の保健文化賞設定もまた同一趣旨に出るものであります。幸いに、大方の御賛同を賜ることを得ますれば、今後ともこの種事業には格別の意を用いたいと念願致している次第であります。

ここに、保健文化賞設定の趣意を開陳して御支援を懇請するとともに、弊社今回のささやかな意図が、一般保健思想及び施設の向上にいささかなりとも寄与することができますれば、望外のしあわせと存ずる次第であります。

昭和25年1月

第一生命保険相互会社

取締役社長 矢 野 一 郎

保健文化賞受賞者の業績

(敬称略) (直近10年間)

団体

個人

第 77 回

(2025年度 賞金総額2,300万円)

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
一般社団法人青森県助産師会	青森県	小学生を対象とした「いのちの教育」を通して、自他の健康意識を育み、子どもたちの成長を支援するとともに、プレコンセプションケアの実践として健康管理の重要性を啓発し、次世代の健やかな成長の促進に貢献している。	200
公益財団法人一迫記念READ血液アカデミー	宮城県	悪性リンパ腫の統合的な病理診断システムを確立し、宮城県を中心として症例登録と予後追跡からなる緻密な疫学調査の基盤を築き、悪性リンパ腫の診療レベル向上とともに血液内科医・病理医の人材育成に貢献している。	200
社会福祉法人山形いのちの電話	山形県	30余年にわたり、年中無休の電話相談等を通して悩みや苦しみを抱える方々に寄り添い、安心して相談できる環境を提供し、山形県における孤立や不安を和らげる社会づくり及び自殺予防の推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人チームふくしま	福島県	無人福祉型子ども食堂の運営や「お互いさまチケット」の取組を通して、子育てで貧困世帯の生活・自立や障害者の就労・社会参加などを支援し、子どもたちの心身の健康づくりや地域共生社会の実現に貢献している。	200
特定非営利活動法人パンキャンジャパン	千葉県	予後が不良な膵臓がんについて、早期診断の啓発や積極的な患者会活動を行うとともに、膵臓がんの診療研究を行う医療者への支援として臨床試験マッチングやレジストリ事業などの取組を行い、治療成績の改善に貢献している。	200
一般社団法人松戸市医師会健康啓発委員会	千葉県	医師が自院での診療にとどまらず地域課題・教育課題に積極的に取り組む事業である「まちっこプロジェクト」を実施し、小中学校への出張授業などによる子どもへの健康教育を通して、地域社会全体の健康意識の向上に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人キープ・スマイリング	東京都	入院する小児の付添家族に対して食品や生活必需品などの物資を届ける支援を展開するとともに、付添入院について、実態調査を通して診療報酬などの制度改正の議論に寄与し、環境の改善及び支援体制の構築に貢献している。	200
公益財団法人ジョイセフ	東京都	「人づくり」による意識や行動への働きかけを通して、世界の女性の命と健康を持続的に守る環境づくりに取り組み、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の推進に貢献している。	200
一般社団法人石川県助産師会	石川県	2012年の発足以来、医療・福祉等関係機関や行政と連携して多岐にわたる母子訪問ケア事業を行うとともに、能登半島地震後には、被災妊産婦に特化した支援を行うなど、社会的支援を通して石川県の母子保健向上に貢献している。	200
エンジェルスの会	和歌山県	アンジェルマン症候群の患者及びその家族が情報交換を通して助け合える場を提供するとともに、疾患の啓発、国際団体との連携及び治療薬の実現に向けた開発協力を行い、患者が安心して暮らせる環境づくりに貢献している。	200
池田正一	東京都	障害児に対する歯科医療の学術的確立及び地域における障害者歯科連携システムの構築のほか、血友病患者、HIV感染者及び無痛無汗症など難病患者に対する歯科・口腔衛生の実践を通して、差別のない歯科診療の向上に貢献している。	100
木村晋也	佐賀県	多くの臨床研究や創薬基礎研究を通して慢性骨髄性白血病の治療法を大きく改善するとともに、低価格な治療薬導入への貢献や積極的な啓蒙活動を行い、患者にとって身体的・経済的負担の少ない診療の実現に貢献している。	100
木添茂子	宮崎県	長年にわたり保健師として携わってきた結核患者への対応などの経験を基に、退職後も保健所の新型コロナウイルス感染症の患者及び接触者への対応に関わり、現場の疲弊を防ぐための地道な支援活動を継続するとともに、保健師等の人材育成に貢献している。	100

※都道府県は受賞時点の団体所在地・個人居住地

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
秋田県在宅保健師等会 ゆずり葉の会	秋田県	住民参加型の通いの場の構築や健康相談等に長年取り組むことで、秋田県民の健康づくりに貢献するとともに、自治体保健師との協働による事業展開を通じ、保健師等の人材育成の一翼を担っている。	200
千葉骨髓バンク推進連絡会	千葉県	長きにわたり、骨髓バンクのドナー登録会の開催、ドナー登録説明員の養成、患者やドナーの支援等に尽力し、千葉県におけるドナー登録の拡大や骨髓バンク事業の推進に貢献している。	200
株式会社アイエスゲート	東京都	聴覚障害者や外国人向けのX線検査支援システムを開発し、がん検診の受診環境の改善に貢献するとともに、字幕や手話付きのがん教育動画の作成及び寄贈により、がん教育の推進に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 がんサポートコミュニティ	東京都	専門職によるがん患者やその家族への相談支援等を長年継続するとともに、その活動で得られた知見を基に「がん対策白書」を発刊し、がん対策における患者・市民参画の導入に貢献している。	200
特定非営利活動法人 心魂プロジェクト	神奈川県	全国の子ども病院や特別支援学校等における本格的なミュージカル公演の実施や、難病児・障害児・きょうだい児等のパフォーマンスチームの育成により、当事者らの心の健康の維持や自己肯定感を高めることに貢献している。	200
特定非営利活動法人子ども自立の郷 ウォームアップスクールここから	滋賀県	不登校の子どもたちが寄宿生活を行う施設や就労支援のためのレストランを運営するとともに、地域活動への積極的な参加により住民との交流を行うことで、子どもたちの社会的自立に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 マイママ・セラピー	滋賀県	相談場所の設置や講座の開催等により、自信を持って育児できる母親を育成するとともに、出産時に妊婦が利用できる「ゆりかごタクシー」の仕組みを他機関と協働して構築し、妊婦が安心して暮らせる地域づくりに貢献している。	200
特定非営利活動法人 京都禁煙推進研究会	京都府	多職種による喫煙防止教育及び禁煙支援を実施する「禁煙サポーター」の養成や、禁煙啓発セミナーの開催等に長きにわたって取り組むことにより、京都府及び近隣府県の住民の健康保持・増進に貢献している。	200
医療法人光心会	大分県	ケニア共和国で無償巡回診療、学童検診、予防教育等を行う現地法人に対し、医療従事者の派遣や研修受入による人材育成支援等を行うことにより、ケニア国民の健康保持・増進に貢献している。	200
社会福祉法人太陽の家	大分県	1965年の創設以来、雇用の場の創出や就労・生活支援に尽力することで障害のある人の雇用と自立を推進するとともに、バラスポーツの推進、地域住民との交流等に取り組み、障害のある人が地域の一員として暮らす共生社会の実現に貢献している。	200
大田 仁 史	福島県	シルバリーハビリ体操の考案と長きにわたる体操指導士の養成により、茨城県内外に同体操を普及させるとともに、高齢者が自主的・継続的に介護予防に取り組める体制を構築し、介護予防の推進に貢献している。	100
杉 山 み ち 子	神奈川県	高齢者の低栄養対策として栄養ケア・マネジメントの概念設計と実施手順を確立し、社会実装のために研究活動の成果を提供するとともに、高度な知識と技術を有する専門職である臨床栄養師の養成に貢献している。	100
高 熊 達 朗	神奈川県	地域におけるHIV患者の歯科診療体制の構築、障害者デイサービスでの口腔保健指導、集団口腔がん健診の実現、個別口腔がん健診への移行等に尽力し、厚木市における歯科口腔保健の推進に貢献している。	100
沼 田 千 賀 子	兵庫県	がん患者やその家族、医療従事者、学生等が自由に対話できる場としてメディカル・カフェを開設し、がん患者及びその家族の精神的サポートを行うとともに、将来医療従事者となる学生たちの意識・資質の向上に貢献している。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
特定非営利活動法人蜘蛛の糸	秋田県	秋田県内の自殺予防活動を行う民間団体の中核として、対面や電話等による相談の受付活動に長年にわたり取り組んでおり、経済・生活問題等の悩みを抱える地域住民の自殺予防をはじめとした、心の健康づくりの推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人 Commune with 助産師	福島県	福島県内の産科医療施設が減少する中で当該団体を設立して地域に根ざした助産師活動を展開し、東日本大震災発生時には即座に母子やその家族のために助産所を開放し、相談用電話を設置する等、妊産婦や乳幼児とその家族への支援に取り組み、地域に貢献している。	200
湯沢町ファミリー健康プラン推進委員会	新潟県	健康づくり計画の策定・実践に「町民主体・町民参加型」として取り組み、20年にわたり住民主体の体制を継続することで、未成年飲酒・喫煙対策に成果を上げるなど、地域の健康づくりに貢献している。	200
社会福祉法人弘和会	石川県	介護・障害者サービスの事業所機能を横断活用し、総合ケアをプロデュースすることにより、過疎化・超少子高齢化地域における独居老人・孤食問題の解消や、最期の看取りまで地域で生活できる街づくりに貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会	愛知県	長年にわたり、愛知県や市町村が実施する骨髄バンクドナー登録会における来場者へのドナー登録の呼びかけや普及啓発活動、血液疾患患者やその家族の支援活動、行政職員を対象とした研修への講師派遣等を精力的に行い、骨髄バンク事業に貢献している。	200
食アレスマイルネット	愛知県	食物アレルギー患者の苦しみや思いを絵本に託して作り上げ、それらを持って日本小児臨床アレルギー学会への訪問や、47都道府県等への絵本贈呈企画、読み聞かせ会企画等で全国を回り、16年にわたり、患者の心を支えることに貢献している。	200
NPO法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク	三重県	10年以上にわたり、さまざまな悩みや心配ごとを持つ子どもたちに対し、相談員が電話を通して思いに寄り添うことで、三重県のこどもの心の支えとなるとともに、自己肯定感を高めることに貢献している。	200
一般社団法人 KISA2 隊	京都府	地域のプライマリケアの枠組みを用いて、新型コロナウイルス感染症で自宅療養中の患者への訪問診療を全国に先駆けて行い、その取組をモデルケースとして全国各地へ普及させることで、多職種連携及び在宅医療の推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人 鳥取県自閉症協会 ペアレントメンター鳥取	鳥取県	研修を受けた先輩保護者が発達障害のあるこどもを育てた経験を活かし、共感性の高い相談活動を行うとともに、ユーザー目線で子育て情報の紹介をすることで、仲間や社会とのつながりを支え、子育てコミュニティに貢献している。	200
特定非営利活動法人 ステップバイステップ	熊本県	障害児と保護者が共に暮らし続けることができる地域を目指して障害児の移動支援事業や療育施設の設置・運営等の活動を続け、1つの自治体の枠に収まらず近隣市町の住民のニーズにも応え続けることで、障害児の居場所づくりや自宅から特別支援学校に通学できる体制整備に貢献している。	200
高岡晃教	北海道	まもるんジャーやこども研究所に代表されるように独自のプログラムを創出し、こどもに幼児のうちから感染症や免疫の教育を行うことで、地域における保健衛生教育の推進に貢献している。	100
岡本和美	奈良県	小児科医師、5人の子の母、教育委員長としての経験をもとに、25年余、児童虐待を広義に捉え、育児支援・思春期保健対策・女性の働き方・医師への教育等、広い範囲にわたり活動され児童虐待防止に貢献している。	100
花田敬士	広島県	膵臓の危険因子に着目し、病診連携を生かして内視鏡を含む低侵襲の検査介入を行う膵臓早期診断プロジェクトを展開し、地域における膵臓の早期診断例の増加や5年生存率の改善等に貢献している。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
埼玉骨髄バンク推進連絡会	埼玉県	1989年に結成され、現在の日本骨髄バンク設立に寄与し、以降は、埼玉県内のドナー登録会時の説明員の派遣や調整を担い、また医療相談会等のイベントを通じて、ドナー登録拡大に貢献している。	200
一般社団法人 OVAL HEART JAPAN	東京都	東日本大震災後に発症した生活不活発発病の予防活動として、運動器症候群に配慮した歩行プログラムの普及に努めるとともに、同プログラムは介護予防にも適応できるため指導者を養成し、全国各地に活動の輪を広げる歩行運動の普及に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ	東京都	日本の医療の中に、シャイン・オン！キッズが心のケアの提供をプラスすることで、子ども達が入院中でも笑顔で過ごす事ができるようになるとともに、コロナ禍でも中断することのないケアの提供により、病気の子ども達に勇気と希望を与える活動を通じて、病気の子ども達のQOLの向上に貢献している。	200
公益社団法人 神奈川県助産師会 と 助産院	神奈川県	神奈川県で初めて助産師職能団体による会立助産院を設立し、地域の母子保健に携わる助産師のブラッシュアップや後輩育成に尽力するとともに、地域の医療機関とも密に連携を取り、産後ケアの質の向上などに貢献している。	200
咽頭摘出者福祉団体 長野県信鈴会	長野県	発声機能を失った咽頭摘出者に対し、50年以上にわたり、代用音声による発声技法の習得を目指した発声訓練講習会を開催するとともに、同講習会は咽頭摘出者にとって、発声訓練が慰問と激励の場ともなっており、咽頭摘出者の福祉の向上に貢献している。	200
津具ロコモ予防体操教室	愛知県	住民主導による津具ロコモ予防体操教室は、高齢化が進展する山間地域において、十年にわたる活発な活動を継続し、住民達の知恵と努力、地域保健関係者の支援を結集させ、地域の高齢者の健康づくりや地域活動の活性化に貢献している。	200
ナールプラ座	愛知県	多様な構成員が、長年にわたり性の健康を幅広く伝える性教育に取り組むことによる、いのちと人権を守り育てる活動を通じて、学校等との連携を重視した包括的性教育の発展に貢献している。	200
公益社団法人大阪府看護協会	大阪府	大阪府看護協会は、全国に先駆けコロナに対応する看護職員の確保・研修、宿泊療養施設の運営等に取り組み、本会がその活動を全国に伝えたことで、多くの県看護協会の取組みが一層強化され、必要な医療の確保に繋がる国民の生命・健康維持に貢献している。	200
HBG 重度・重複障害児 スポ・レク活動教室 「はなまるキッズ」	広島県	身体及び知的にも最重度の障害を有し、医療的ケアを必要とする子供も対象とした、国内外でも例のないアダプテッド・スポーツ（障害等に応じたルール、用具、指導法等を独自に考案・工夫したスポーツ）教室を15年間、定期的に開催するとともに、障害者スポーツ指導者養成に貢献している。	200
障害学生パートナーシップ ネットワーク付属 熊本県発達障害当事者会 L i t t l e b i t	熊本県	障害に捉われず多様な行政・団体との連携を広げ、協働に発展させ、発達障害を含めた多様な人々が地域で活躍する場を増やし、一人ひとりの「できること」を引き出す「対話力」を備えた社会づくりに貢献している。	200
豊嶋崇徳	北海道	唾液中の新型コロナウイルスの存在に気づき、その後、産官民一体で極めて短期間のうちに唾液検査法を確立し、コロナ対策を大きく進歩させ、唾液検査の普及に貢献している。	100
今明秀	青森県	一人救急医として活動し、医師・看護師・消防・市民の教育を通じて、稀有な救急医療体制を作りあげるとともに、移動緊急手術室の開発を通じて、絶望的だったへき地の心肺停止症例を社会復帰に導き、また外傷診療体制の質の向上に貢献している。	100
五十嵐千代	埼玉県	わが国の産業保健分野の保健師等の産業保健看護職の育成を通じて、産業保健及び産業看護を発展させ、東京を拠点に働く人の自殺対策を含むメンタルヘルス対策や地域の人への健康支援に貢献している。	100
松平浩	東京都	従来の人間工学的対策だけでなく、心理社会的要因への対策の必要性について先駆的かつ一貫した研究を実施し、労働災害が増加傾向にある第三次産業での腰痛をはじめとする筋骨格系疾患の予防・改善に貢献している。	100
下浦佳之	兵庫県	国内で頻繁に発生する災害に対し、栄養と食事に関する被災地支援のスキームと体制の構築及び平時における防災体制の総合的な整備活動によって、誰一人取り残さない災害支援システムの構築に貢献している。	100

第 73 回

(2021年度 賞金総額2,300万円)

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
特定非営利活動法人 3 k e y s	東京都	虐待・育児放棄・貧困等で頼れる大人のいない子どもたちの支えとして、児童養護施設等での学習支援に始まり、孤立した子どもたち向けの相談事業や啓発事業を展開し、子どもたちの精神面を含めた課題解決に貢献している。	200
特定非営利活動法人 F i n e	東京都	不妊当事者のさまざまな負担を軽減するために、不妊がより正しく社会全体に理解され、不妊に関わるすべてのことが、ごくありふれた普通のこととなるよう社会を変える活動に長年にわたり貢献している。	200
特定非営利活動法人 適な排尿をめざす 全国ネットの会	京都府	排尿問題に悩む一人でも多くの方を救うため、多職種と連携し、地域医療のみならず全国の患者のための適切な医療の提供とともに、身近な排尿問題を年齢で諦めることのないよう、啓発活動に尽力し、QOLの向上に貢献している。	200
大阪府立大学大学院 看護学研究科 セクシュアリティ教育 プロジェクト	大阪府	保健医療・教育・福祉の専門家による多職種連携体制を構築し、長年にわたり43万人の高校生を対象に、出張性教育授業、講演、性教育の教材開発などを行い、思春期の子どもたちの心身の健康支援・福祉に貢献している。	200
(認定) 特定非営利活動法人 プール・ボランティア	大阪府	障がい者が、障がいの程度に係わらずプールを楽しめるよう、長年にわたり工夫を重ね活動を継続し、専門家のみならず、一般ボランティアを多く受け入れ、市民プールで健常者と共に泳ぐことで、地域での理解の推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人 アイルコー	香川県	主に重度の障がい者を有する人に対して安心して過ごせる日中活動の場を提供するとともに、地域の福祉拠点として様々な活動を通し、助け合いながら明るい協働社会を創っていくことや未来を背負う子どもたちの健全な育成活動への参加の機会を提供に貢献している。	200
一般社団法人 長崎県薬剤師会	長崎県	医療資源が乏しい五島列島において、住民の医薬品の使用実態調査で判明した「薬剤師が存在しない」二次離島の現状に対して、定期的な「お薬説明・相談会」を実施し、住民の医薬品適正使用や健康増進の向上に貢献している。	200
一般社団法人 一別府市医師会	大分県	ゆけむり医療ネットは地域医療・保健・福祉を連携する医療連携ネットワークで高度医療の理解と詳細な患者説明が可能となり疾病管理による重症化予防、重複した検査や処方の防止等、地域医療の効率化に貢献している。	200
特定非営利活動法人 メッシュ・サポーター	沖縄県	島々で抱える医療過疎や医師の過重労働に関する問題解決のため、医療用航空機（ヘリコプター・飛行機）による患者搬送・医師派遣を通して、離島医療の問題改善に貢献している。	200
須藤英毅	北海道	側弯症学校検診の確実な実施に向けた啓蒙活動と側弯症を早期に発見し支援に繋げていく環境整備を幅広く実施することで、重症化を予防する先制医療等による小児保健衛生の向上に貢献している。	100
金子鮎子	東京都	長期に働くことが困難とされている精神障がい者を長年にわたり働く人として育成・雇用し、そのノウハウを発信して、雇用施策を促し、障がい者の働く権利の拡大を通して、就業による共生社会の実現に貢献している。	100
石渡千代	神奈川県	地域の管理栄養士・国際薬膳師として活動し、食を通して人を幸せにするための活動を対象者の視点に立って、楽しんで取り組めるように工夫し、県民市民の健康増進活動の推進に貢献している。	100
市川恵子	神奈川県	母子保健に携わる事業に長きに尽力し、助産院・訪問看護ステーションを開設し母子への健康を守り、横浜市助産師会の会長・神奈川県助産師会副会長を歴任し、地域及び後輩の育成に貢献している。	100
比嘉政昭	沖縄県	BCG 接種の集団接種方式から個別化への移行にあたり市町村や医師会に対して研修や評価を行い、地域婦人会の活動を援助して結核予防の普及啓発に貢献している。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
社会福祉法人 グリーンローズ	秋 田 県	乳幼児期のことばの発達に支援を要する子どもとその家族への相談・支援事業、並びに障害のある子ども達も共に保育・教育を受けられる環境づくりに貢献している。	200
公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ I N T O K Y O	東 京 都	多数の医療者や企業から協力を得て重症児や希少難病児の支援に特化している唯一性の高い団体であり、経済的基盤も不安定な若い家族を支援し、彼らの QOL を高めて社会的孤立を阻止することに貢献している。	200
特定非営利活動法人 モンキーマジック	東 京 都	クライミングというスポーツを障害者が楽しめる環境を創るのみにとどまらず、健常者も一緒に参加し楽しめる環境を広げることに貢献している。	200
静岡県在宅保健師の会 「つつつじの会」	静 岡 県	長年に亘り、豊富な経験と知見を活かして、住民と対話し、地域を観察する家庭訪問は、市町と住民を繋ぐ架け橋となっており、静岡県健康寿命の延伸に貢献している。	200
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大 阪 府	無料低額診療事業の目的に沿って、独自に「生活困窮者支援事業」（なでしこプラン）を創設し、同会の複数病院が協力して、生活困窮者が多く居住する地域への「出かける検診事業」を実施し、疾病予防と健康の増進に貢献した。	200
特定非営利活動法人 認知症の人とみんなの サポートセンター	大 阪 府	若年性認知症の方への支援団体は、全国的にもほとんどない中、先駆的に取り組みを行い、特に、診断前や診断後初期に利用できる社会資源が少ない中、週4回活動できる取り組みを行い、若年性認知症の居場所作りに貢献している。	200
特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク	兵 庫 県	役員をはじめ運営委員会等の委員は無償協力であり、臍帯血を病院から搬送するスタッフなど、多くのボランティアや県民、ライオンズクラブ等からの協力を得て運営されており、全国の着実な臍帯血の提供に貢献している。	200
健康で安心して住める 花栗振興会	島 根 県	行政に頼らず住民が自主的に健康で安心して暮らせる地域づくりを計画・実践しており、高齢化率は高水準だが、地域の活動への参加率も高く、他地区の模範と成り得る団体であり、地域版の健康づくり活動計画の策定に貢献している。	200
特定非営利活動法人 みよしサポート協会びあぞら	徳 島 県	社会的課題であるひきこもり対策において、対象者別の仕組みでは対応できないような複合的なニーズに、ピアサポートの力を活用し柔軟に対応し、関係機関と連携のもと、切れ目のない支援に貢献している。	200
高知県骨髄バンク推進協議会	高 知 県	日本骨髄バンクが設立された翌年の1992年から活動を開始し、ドナーを募る登録会を長年にわたって実施しており、高知県民に向けた骨髄バンクの普及啓発に貢献している。	200
増 田 靖 子	北 海 道	現実のニーズをしっかりと把握した上で、草の根レベルの地道な活動を継続し、同病の患者・家族の閉じたサークルではなく、難病患者が広く連携・連帯し、お互いの問題を解決して行く枠組み作りに貢献している。	100
田 中 志 子	群 馬 県	病棟では、身体拘束ゼロ医療・ケア、地域では、認知症の人の見守りネットワークや買い物支援など、認知症の人の尊厳を守り、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりに貢献している。	100
大 淵 修 一	埼 玉 県	介護予防の必要性を早期から訴え、介護予防に関する研究・介護予防システムの構築に尽力し、介護分野で理学療法士が活躍する契機を作り、また予防を中心とした地域づくりに貢献した。	100
秋 山 正 子	東 京 都	訪問看護・在宅ケア、暮らしの保健室、マギーズ東京など、27年間に渡り無私の精神で患者・家族を支え続け、地域密着の経験知を講演・執筆等で広く伝え、全国の実践向上に貢献している。	100
池 川 志 郎	東 京 都	骨・関節系統の難病、遺伝病、生活習慣病に関する専門医かつ基礎研究者として、疾患の原因解明、適切な医療の普及、患者支援体制の整備、人材育成、関係コミュニティの連携支援を通じて、広く患者の福祉に貢献した。	100

第 71 回

(2019年度 賞金総額2,500万円)

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
一般社団法人 仙台市薬剤師会	宮城県	薬と健康に関する啓発を長年実施したほか、薬局によるハートヘルスプラザ事業を展開し、市民の健康増進や認知症・うつ病の早期対応等、幅広い分野で健康づくりに取り組み、市民の健康寿命の延伸に貢献している。	200
福島県食生活改善 推進連絡協議会	福島県	地域の健康課題や社会情勢に応じた食生活改善の活動を通じて、乳児から高齢者まで幅広い世代を対象とした食育を推進し、県民の健康的な食生活に対する意識や健康水準の向上に貢献している。	200
NPO アレルギー児を 支える全国ネット 「アラジーポット」	東京都	医療現場のみならず社会一般にアレルギー疾患に対する正しい知識を普及させることを目的に活動を続け、患者と医療関係者などが対等のパートナーとしてアレルギー疾患治療の現状を改善していく道筋を切り拓くことに貢献している。	200
特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International	東京都	先進国の人々と、開発途上国の子どもたちが食を分かち合うという仕組みを提唱し、開発途上国の栄養状態改善や教育機会整備、先進国では健康増進や肥満防止に貢献している。	200
いしかわ骨髓バンク推進・ はとの会	石川県	平成2年の設立以来骨髓移植のドナー登録増進を図るため、職域での集団登録会や献血ルームでの受付・説明、啓発のための語り部講演会、映画・芝居の上演、マスコミへのPRなどをボランティアで続け、骨髓移植の啓発に貢献している。	200
公益社団法人 鳥取県看護協会	鳥取県	職能団体としてその専門性を活かし、学校に出向いてのいのちの教育や、思春期相談等を行政や関係機関と連携し、15年間に亘り継続して行い、全国ワースト1位であった10代の人工妊娠中絶率の低下に大きく貢献している。	200
益田の医療を守る会 市民の会	島根県	市民・医療機関・市議会・行政が一体となり、市民が安心して医療を受け暮らせるように益田市の医療を充実させていこうという気運を醸成し、多くの市民に医療や健康に関心をもたせることに貢献している。	200
特定非営利活動法人 癒し憩いネットワーク	福岡県	写真や動画を用いた“癒し・憩い”のコンテンツを制作し、美しい画像の数々を無償で送り、患者やそのご家族などの人生の質（Quality Of Life）の向上に貢献している。	200
NPO 法人熊本 DARC	熊本県	薬物など依存症対策に真摯に向き合い当事者家族に対し伴走型支援を実践し、熊本地震では最大被災地の益城町に入りアルコール依存等に悩み苦しむ本人や家族に寄り添い、こころのケアに貢献している。	200
一般社団法人 沖縄県助産師会	沖縄県	行政との連携により、有床助産所運営、沖縄県女性健康支援センター事業、思春期性教育、離島の巡回妊婦健診、若年妊産婦の居場所事業、産前産後ケア事業受託等、多岐にわたって地域の母子保健事業に貢献している。	200
向山秀樹	神奈川県	地域に在住する外国人家族と地域住民の架け橋となり、自らの診療所の開放や、22カ国外国人問診表を作成し、全国に無料で配布した。また、重い病気を抱えた家族の海外移住には、日本と同等の治療ができるように努力するなど、海外での治療の道の開拓に貢献している。	100
植松潤治	滋賀県	医師として障害児者医療への研究・治療を実践し、近年は在宅障害児者医療を積極的に推進した。さらには滋賀県障害児者と父母の会の活動を通して福祉環境整備に貢献している。	100
埴田和史	滋賀県	過重な負担による手話通訳者の頸肩腕障害発症を発見し、長きに渡り相談・検診や追跡調査に邁進する傍ら、全国各地で講師活動을続け、手話通訳者の健康を守るルールを普及させ、手話通訳者の健康管理制度の構築に貢献している。	100
足立光平	兵庫県	地域住民の健診・検査データ・パーソナルヘルスデータを一元化し、それらを個人同意の下、必要に応じ供覧することで、いつでもどこでも、良質な保健医療福祉サービスを受けられるシステムの構築・維持・発展に貢献している。	100
岡本新悟	奈良県	バングラデシュの無医村に病院を設立した他、マンゴー園を建設し医療費を払えない患者の援助とした。また、身寄りのない寡婦の為にホームを建設し、生活の糧が得られる枠組を構築する等、バングラデシュの医療と福祉の充実に貢献した。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
北里第一三共ワクチン株式会社	埼玉県	感染症で苦しんでいるベトナムの子どもたちを救うため、難易度の高いワクチンの製造技術協力を実施することにより、ベトナムの安全かつ信頼度の高いワクチンの自国製造と安定的な供給を可能にし、ベトナムでの感染症の蔓延防止に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 アトピッチ地球の子ネットワーク	東京都	食物アレルギーやアトピーの患者や家族を対象として、電話相談や交流会を開催するとともに、ボランティアの養成や、個別活動団体のネットワーク化を図ることにより企業や医療機関との連携強化等に取り組み、患者等の支援に貢献している。	200
特定非営利活動法人 途上国の精神 保健を支えるネットワーク SUMH Supporters for Mental Health	東京都	内戦の経験から PTSD 等の精神障害を有している住民が精神科サービスの提供を受けられないカンボジアに、日本から医師等のスタッフを派遣し、精神科外来診療やデイケアの提供、現地職員への研修等を行うことにより、カンボジアの精神保健医療水準の向上に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス	東京都	難病小児と家族のための滞在施設を病院の近くに設立・運営するとともに、医療関係者とも連携し、患者・家族の精神的、経済的負担を軽減し安心・安全な闘病生活を支援している。また、全国の滞在施設の運営者のネットワークを構築し、各地域での医療環境の向上に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 三重いのちの電話協会	三重県	深刻な悩みや心配事を持つ人たちに、365日無休で電話相談を行うことによって心の支えになっている。また、いのちの電話を県民に普及啓発するためのパンフレット等の配布や、電話相談員のスキルアップを図るための養成研修等を行い、三重県の自殺予防対策に貢献している。	200
特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト京都	京都府	発達障害等の子供たちのために、自宅での訪問ヘアカットなどを行い、障害の特性に応じ段階的にヘアカットに慣らししていく活動を行うとともに、全国で講演等を通じ、賛同する理・美容院を増やす啓発活動を行うことにより、美容の面からバリアフリー社会の構築に貢献している。	200
特定非営利活動法人 インターナショナル	兵庫県	食物アレルギーや宗教戒律により食べられないものがある人が安心して食事ができるよう、食品表示コミュニケーションツールである「フードピクト」を開発し、飲食店や国際会議を開催するホテル等に広く普及させることにより、食に制約のある人が安心して暮らせる社会づくりに貢献している。	200
西部在宅ケア研究会	鳥取県	鳥取県の西部医療圏において在宅ケアに関わる医師、歯科医師、薬剤師等の多職種が集まり定例研究会を行っている。本研究会では単なる講演だけでなく、グループディスカッションも実施しながら、医療、介護、行政などの連携強化を図ることにより、地域の医療介護に貢献している。	200
うすき石仏ねっと運営協議会	大分県	市、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、介護施設等の代表で構成された団体で、地域共通番号を格納した「石仏カード」を発行し、各連携機関と医療や介護の情報を共有することにより、病気の早期発見、重症化予防等、健康寿命の延伸等に寄与し、地域全体の健康福祉の向上に貢献している。	200
公益社団法人会 鹿児島県助産師会	鹿児島県	離島からの出産待機の間としての宿泊型妊産婦ケアセンター及び当助産師会立の助産院において、継続的かつ個別的なケアを実践することで、安心安全で満足度の高い出産や育児等を支援している。また、鹿児島県内の小学校等への出前講座や助産師の質向上の研修など広く母子保健の向上に貢献している。	200
加藤昌志	愛知県	バングラデシュ等の途上国における飲用井戸水の浄化材の開発、浄化の実践等を大学生らのボランティアと協同で実施した。また、東日本大震災後のがれき木材の焼却を、独自の浄化材を用いて有害元素の拡散を防ぐ開発活動を進め、国内外の環境汚染に起因した疾患の発症予防に貢献している。	100
星合昊	大阪府	体外受精の多数胚移植による多胎妊娠等の防止のため、単一胚移植の原則を確立し、安全な出産の普及に尽力し現在の不妊症治療の礎を築いた。また、大阪府の不妊相談窓口設置や不妊治療助成の基準策定等、不妊対策事業に対する指導助言を行い、大阪府の少子化対策に貢献した。	100
新庄幸子	兵庫県	カウンセラーとして、難病の患者・家族の支え合いを促す自立的な患者活動の基礎を築いた。また、ボランティアとして難病患者・障害者・HIV や AIDS 患者等への支援等を継続することにより、自助・互助・共助・公助を包括した支援のあり方の提示に貢献している。	100
山根俊恵	山口県	山口大学大学院教授の傍ら、看護師として、精神障害者やひきこもり者等の支援のための NPO 法人を立ち上げ、居場所の確保、地域におけるリハビリテーション体制づくり、社会的偏見の払拭、共生のまちづくりを目指し地域に貢献している。	100
松田晋哉	福岡県	公衆衛生学の研究者として、包括医療費支払制度（DPC）の開発とそれを用いた臨床研究・政策科学研究への応用、地域医療構想及び地域医療計画の策定に活用されているデータブックの作成等を行うことにより、医療介護情報の基盤整備とその活用体制の推進に貢献している。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
公益財団法人 いばらき腎臓財団	茨城県	移植医療の教育段階からの普及啓発を目的として、学校へ医師、移植経験者を派遣する「いのちの学習会」事業を実施し、児童生徒の理解を深めるとともに、移植医療に関わる医療者向けの研修会等を実施し、移植医療の普及啓発に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 ジャパンハート	東京都	アジアの途上国の貧困層に対する無償医療提供、養育施設の開設・運営、現地医療者の育成等を行っている。また、途上国における医療支援の機会の創出を目的として日本の医療者の育成を図るなど、多岐にわたる国際貢献をしている。	200
特定非営利活動法人 女性ネット Saya-Saya	東京都	DV等の暴力被害を受けた女性に対する民間の支援団体として、当事者への危機介入、法的支援、女性の自立を支援するステップハウスや相談室の運営、就労支援及び支援者養成等のきめ細かな支援活動に貢献している。	200
公益社団法人 全国結核予防婦人団体連絡協議会	東京都	昭和50年以来、行政と住民の架け橋となり、結核の健診奨励、BCGワクチン接種率の向上等、全国組織での結核予防の知識の普及啓発活動を通じて、地域の健康管理に積極的に寄与するとともに、近年では慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防と早期発見のための啓発活動に尽力している。	200
特定非営利活動法人 アレルギーを考える母の会	神奈川県	アレルギー患者に対する相談活動による適切な医療への橋渡しや、学校等の教職員を対象とした研修会を通じた学校現場での子どもに対する支援の充実など、アレルギー患者が安心して暮らせる環境づくりに貢献している。また、東日本大震災、熊本地震の被災地における支援にも尽力している。	200
和歌山県難病の子ども家族会	和歌山県	ボランティアの協力のもと、難病の子どもや家族を対象としたリゾートキャンプでの交流会、学習会を開催し、参加者が心身をリフレッシュするとともに、病気や障がいについて理解を深め、相互に支え合う体制づくりに尽力し、病気の子どもの家族が暮らしやすい地域づくりに貢献している。	200
島根県在宅保健師等の会 「ほたんの会」	島根県	豊富な経験を有する保健師等による精神障がい者や難病患者等への訪問活動による地域の見守り体制づくりや、免疫力を高める体操の取組による中高年の身体づくりなど、地域に根ざした保健予防活動を基盤とし、継続的な住民の心と体の健康づくりに貢献している。	200
一般社団法人御津医師会	岡山県	夜間診療輪番制、病診連携、限界集落の医療対応、在宅医療連携推進、有事の場合の医師派遣等から成る地域医療を守る相互扶助プログラムを作成、実施した。また、行政、歯科医師会、薬剤師会等の団体、学校及び病院等との連携強化を図り、地域医療の推進に貢献している。	200
宮崎県食生活改善推進協議会	宮崎県	減塩に配慮した料理のレシピの開発、配布などの食生活改善活動による生活習慣病予防や、子どもの頃からの望ましい食習慣を身につけるための料理教室の開催、郷土料理などの食文化伝承活動を行い、県民の健康増進に大きく貢献している。	200
小笠原 一 夫	群馬県	終末期がん患者の在宅ホスピスケアの診療や、電話相談「がん110番」、がん患者・家族会の設立など、地域包括ケアを見据えた医療・介護・福祉ネットワークづくりなどの社会貢献活動に尽力し、在宅ケアの普及に貢献している。	100
佐藤 加代子	東京都	管理栄養士として長期にわたり多くの地域及び学校現場での健康づくり、食育推進活動に関わり、科学的視点による分析を行いながら、食生活改善活動の推進に向け、積極的かつ主体的に貢献してきた。	100
武藤 芳 照	東京都	高齢者の骨折・寝たきり・要介護状態の原因となる転倒について、多職種連携による学術研究活動を推進し、転倒予防の社会的認知を高めるとともに、転倒予防に関わる学術図書や普及・啓発図書の企画、制作を推進し、転倒予防の学問、実践分野の確立に貢献した。	100
宮下 美代子	神奈川県	開業助産師として、長年にわたり医療施設及び保育士、産前産後ヘルパー等の多職種と連携し、授乳期の母親が安心して子育てが出来る環境を整え、母乳育児支援、産後うつ、虐待防止対策等に貢献している。また、母乳育児支援業務等の講演を行うなど、助産師の教育活動にも尽力している。	100
矢津 剛	福岡県	福岡県京築地区において、在宅療養支援診療所を開設し、末期がん患者や重度寝たきり患者等の在宅療養支援を行うとともに、在宅ケアを支えるためのネットワークづくりとボランティア育成、地域の介護力、看護力の向上に貢献している。	100
近藤 達 郎	長崎県	ダウン症候群等の染色体異常を持つ患者や家族について、様々な分野の専門家の講演や患者・家族による情報共有を行う場として「ダウン症候群トータル医療ケア・フォーラム」を開催するなど、医学・医療福祉の多方面・長期にわたり献身的に活動している。	100

第 68 回

(2016年度 賞金総額2,500万円)

受賞者名	都道府県	業績	賞金 (万円)
一般社団法人 札幌市医師会	北海道	救急患者の疾病に応じた体制として、初期救急医療体制、第二次救急医療体制、第三次救急医療体制を年間全日体制とし、診療の空白時間帯には二次救急医療機関が初期救急患者に対応する体制を整備する等、地域の救急医療に貢献している。	200
岐阜県高山市	岐阜県	疫学的調査により食生活と生活習慣病の関係を明らかにし、その結果を踏まえて市としての健康課題を抽出することにより、食生活などの地域特性に焦点をあてた健康増進計画を策定して保健活動の推進、地域の健康水準の向上を図っている。	200
愛知県食生活改善推進員会 連絡協議会	愛知県	公民館等を拠点として、地域住民を対象に地域の状況に合った料理教室や啓発事業等を行うなど地道に実践的な活動を続け、県民の食生活改善の向上や食育を推進し、愛知県が進める「健康長寿あいち」の実現に貢献している。	200
公益社団法人会 日本国際民間協力会	京都府	衛生設備が不十分な発展途上国において、生態学的衛生トイレを建設・普及させ、衛生環境の改善を促進する活動を展開してきた。また、このトイレから入手できるし尿等を肥料として普及させ、地域の土壌改善、水質汚染防止、農業生産の向上に寄与した。	200
一般社団法人 大阪府医師会	大阪府	初期救急で対応が困難となり重篤に至るおそれのある眼科、耳鼻咽喉科患者を積極的に受け入れるために、高度専門医療が行える二次救急医療機関を確保する大阪府独自の救急医療体制を構築し、大阪府の地域保健・地域医療の推進に貢献した。	200
佐用町南光歯科保健センター	兵庫県	住民の健康づくりの一環として、ライフステージに応じた歯科診療ならびに予防・啓発活動などの地域歯科保健活動を実施し、口腔保健の改善に努めるとともに、全国的な「8020運動」推進のモデルとしての役割を果たした。	200
一般社団法人 兵庫県難病団体 連絡協議会	兵庫県	兵庫県初となる難病団体として設立して以降、40年以上にわたる難病療育相談会の開催や難病患者実態調査の実施など、難病患者とその家族の生活環境の改善に尽力した。特に阪神・淡路大震災の経験を踏まえ、災害時における難病患者への支援・防災意識向上に貢献している。	200
南宇和障害者の社会参加を進める会	愛媛県	南宇和郡内外の住民支援ネットワークにより障がい者との「共生社会の実現」をめざし、住民及び行政機関、民間団体、ボランティア等官民一体となった地域ぐるみの活動を進め、地域住民の障がい者理解に大きく貢献した。	200
NPO法人 食支援ネットワーク・ 長崎嚥下リハビリテーション研究会	長崎県	高齢者の食べる楽しさを支え、さらに彼らの肺炎予防や介護者の負担軽減を目標に、専門職に対する摂食・嚥下障害への指導・研修活動に尽力した。また、一般市民に向けた啓発活動に貢献した。	200
特定非営利活動法人 アジア砒素ネットワーク	宮崎県	鉱山周辺に頻発した砒素による健康被害者への救済・支援活動を40年以上にわたり実施し、地域における公衆衛生の改善に寄与するとともに、その経験をもとにアジア地域での飲料水による砒素中毒対策に尽力し、国際協力に貢献した。	200
小林典子	東京都	30年余にわたり一貫して保健師の結核保健看護活動に関する卒後教育に従事するとともに、全国各地で結核対策の企画立案・実施・評価の支援を積極的に行った。特に服薬支援を軸とした患者支援を体系づけた日本版 DOTS の開発・普及に貢献した。	100
樋野興夫	東京都	「アスベスト・中皮腫外来」の開設に加え、医療現場と患者の隙間を埋め、患者との対話で病気の不安や悩みの解消を図る「がん哲学外来」を開設し、地域の保健衛生に貢献した。	100
藤田保	滋賀県	聴覚障がいを持つ医師として、福祉施設での精神保健相談や、勤務する病院で聴覚障がい者外来の実践、学生への教育などを行うことで、聴覚障がい者の精神保健や福祉の向上に貢献した。	100
松林公蔵	京都府	高齢者医療は病院では完結せず、高齢者が日々生活する家庭・地域が重要であるとの発想のもとに、多種職の医療スタッフが病院から地域へ出る「フィールド医学」を構想し、地域住民との協働により実践して多大な成果を上げ、地域の保健予防活動に貢献した。	100
川村孝	大阪府	プライマリケアの現場において市民に身近な疾病に関する質の高い臨床研究を行うことにより、エビデンスを構築するとともに、第一線の医療職に対する臨床研究の方法論を浸透させることに貢献した。	100

地域別受賞者数一覧表（第1～77回）

都道府県	団 体	個 人	合 計
北海道	25	15	40
青森県	7	7	14
岩手県	12	4	16
宮城県	21	6	27
秋田県	11	3	14
山形県	8	3	11
福島県	15	6	21
茨城県	16	4	20
栃木県	8	2	10
群馬県	11	8	19
埼玉県	16	10	26
千葉県	11	6	17
東京都	104	115	219
神奈川県	36	22	58
新潟県	22	8	30
富山県	7	3	10
石川県	11	3	14
福井県	8	1	9
山梨県	8	5	13
長野県	22	4	26
岐阜県	14	2	16
静岡県	15	6	21
愛知県	23	10	33
三重県	8	2	10
滋賀県	7	4	11
京都府	15	6	21
大阪府	44	17	61
兵庫県	15	18	33
奈良県	3	5	8
和歌山県	8	0	8
鳥取県	17	2	19
島根県	24	0	24
岡山県	26	10	36
広島県	18	5	23
山口県	10	4	14
徳島県	4	2	6
香川県	5	3	8
愛媛県	12	1	13
高知県	8	8	16
福岡県	16	10	26
佐賀県	6	3	9
長崎県	15	3	18
熊本県	21	6	27
大分県	10	2	12
宮崎県	11	2	13
鹿児島県	8	5	13
沖縄県	10	11	21
合 計	752	382	1,134

受賞理由の変遷

表1 団体

第1～10回	件数	第11～20回	件数	第21～30回	件数	第31～40回	件数	第41～50回	件数	第51～60回	件数	第61～70回	件数
結核対策	17	結核対策	31	検診	33	健康教育	34	健康教育	40	地域保健・地域医療	20	地域保健・地域医療	29
環境改善	14	地区組織	26	母子保健	32	検診	31	地区組織	34	難病・障がい者保健	19	健康増進・疾病予防	14
母子保健	13	母子保健	26	結核対策	20	母子保健	27	老人保健	24	健康増進	18	難病・障がい者保健	11
寄生虫対策	12	環境改善	22	成人病対策	20	栄養改善	23	精神保健	23	精神保健	13	精神保健	11
地区組織	11	国保事業	14	地区組織	17	成人病対策	22	栄養改善	22	国際保健	9	母子保健	11
国保事業	9	上下水道	11	健康教育	15	地区組織	20	母子保健	18	歯科保健	7	高齢者保健・介護	5
保健所	9	栄養改善	11	栄養改善	15	歯科保健	19	医療従事者教育	17	母子保健	4	歯科保健	4
健康教育	7	成人病対策	10	環境改善	15	僻地医療	17	学校保健	16	食品保健	2	国際保健	4
公衆衛生	5	健康教育	10	献血事業	12	循環器	16	障がい者保健	16	感染症対策	2	感染症対策	2
上下水道	4	公衆衛生	9	僻地医療	9	老人保健	15	社会復帰	14	老人保健・介護	1	その他	2
受賞数	68		81		89		111		134		102		98

(受賞理由が複数の場合もある)

表2 個人

第1～10回	件数	第11～20回	件数	第21～30回	件数	第31～40回	件数	第41～50回	件数	第51～60回	件数	第61～70回	件数
結核対策	9	医療実践	18	結核対策	16	医療実践	9	医療従事者教育	8	地域保健・地域医療	13	地域保健・地域医療	13
ハンセン病対策	9	結核対策	14	医療従事者教育	10	健康教育	7	医療実践	7	感染症対策	7	難病・障がい者保健	8
医療実践	6	医療従事者教育	13	健康教育	9	結核対策	6	学校保健	6	精神保健	7	精神保健	7
寄生虫対策	5	健康教育	9	僻地医療	6	ハンセン病対策	5	ハンセン病対策	6	難病・障がい者保健	5	健康増進・疾病予防	4
伝染病対策	4	母子保健	7	伝染病対策	6	母子保健	5	母子保健	6	国際保健	5	感染症対策	4
母子保健	4	寄生虫対策	6	社会復帰	5	社会復帰	4	検診	5	老人保健・介護	2	高齢者保健・介護	3
基礎研究	4	学校保健	5	寄生虫対策	5	医療従事者教育	4	がん対策	4	健康増進	1	母子保健	3
上下水道	4	伝染病対策	5	精神保健	5	国際保健	4	健康教育	4	母子保健	1	国際保健	3
国保事業	3	上下水道	5	国際保健	4	検診	4	国際保健	4	学校保健	1	学校保健	2
医療品	3	基礎研究	5	看護	4	寄生虫対策	4	僻地医療	3	歯科保健	1	少子化対策	2
受賞数	60		70		52		33		37		49		51

(受賞理由が複数の場合もある)

<ご参考>

推薦協力依頼をしている関係機関および団体等抜粋

国立社会保障・人口問題研究所	日本二分脊椎・水頭症研究振興財団
医薬基盤・健康・栄養研究所（国立健康・栄養研究所）	日本透析医会
医薬基盤・健康・栄養研究所（医薬基盤研究所）	日本栄養士会
国立がん研究センター	日本調理師会
国立循環器病研究センター	日本精神保健福祉連盟
国立精神・神経医療研究センター	がん研究会
国立健康危機管理研究機構	日本対がん協会
国立成育医療研究センター	日本腎臓財団
国立長寿医療研究センター	日本アイバンク協会
量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所	日本リウマチ財団
労働安全衛生総合研究所	日本糖尿病財団
国立障害者リハビリテーションセンター	放射線影響研究所
国立病院機構	日本臓器移植ネットワーク
日本キリスト教海外医療協力会	循環器病研究振興財団
全日本ろうあ連盟	エイズ予防財団
日本障害者リハビリテーション協会	老人病研究会
日本パラスポーツ協会	日本心臓財団
全国腎臓病協議会	難病医学研究財団
日本筋ジストロフィー協会	日本骨髓バンク
日本重症心身障害福祉協会	全国生活衛生同業組合中央会
全国肢体不自由児者父母の会連合会	日本薬剤師会
国際医療技術財団	全国社会福祉協議会
長寿科学振興財団	骨粗鬆症財団
日本医師会	日本家族計画協会
日本歯科医師会	日本肢体不自由児協会
日本獣医師会	母子衛生研究会
日本看護協会	日本産婦人科医会
日本助産師会	国民健康保険中央会
日本診療放射線技師会	船員保険会
日本臨床衛生検査技師会	日本医学会
日本理学療法士協会	済生会
日本作業療法士協会	全国厚生農業協同組合連合会
日本柔道整復師会	日本学校保健会
日本鍼灸師会	日本製薬団体連合会
全日本鍼灸マッサージ師会	日本医療福祉生活協同組合連合会
日本あん摩マッサージ指圧師会	てんかん治療研究振興財団
日本歯科技工士会	神経研究所 精神神経科学センター
日本歯科衛生士会	日本健康・栄養食品協会
日本病院会	日本環境整備教育センター
全日本病院協会	日本 NPO センター
日本医療法人協会	NPO サポートセンター
日本医療ソーシャルワーカー協会	ユニバーサル志縁センター
日本視能訓練士協会	日本フィランソロピー協会
日本精神科病院協会	東京ボランティア・市民活動センター
日本精神科看護協会	大阪市ボランティア・市民活動センター
前立腺研究財団	健康・体力づくり事業財団
高齢者眼疾患研究財団	地方公共団体

※法人格等は省略させていただいております。



第77回贈呈式にて（2025年11月19日）

